難解な「契約判定」はAIに任せる時代へ
～鴻池運輸が挑むAI活用と業務効率化への取り組み～

鴻池運輸株式会社　経理部　次長　牧山 修士様
鴻池運輸株式会社　経理部　課長　河野 健太様

－ 司会進行 －
ファーストアカウンティング株式会社　代表取締役社長　森 啓太郎
株式会社プロシップ　取締役　巽 俊介

鴻池運輸株式会社

経理部　次長
牧山 修士 様

経理部　課長
河野 健太 様



事業内容

鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、
食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、
国際物流事業、インド事業の９つの事業を展開。

主に取り扱う製品・分野

- 食品・飲料
- 鉄鋼・化学・エネルギー
- 機械・自動車
- 医療・医薬品・化粧品
- 生活用品・日用品

質　問

AI活用の検討に至った背景をお聞かせください。

質　問

管理対象となるリースの契約件数及び子会社数をお聞かせください。

質　問

１．AI検証を実施した具体的な契約内容をお聞かせください。

２．AI検証の結果、人の手による補正無しで対応及び補正が必要な契約はどの程度発生する想定かお聞かせください。

３．補正が必要なケースはどのようなケースになりますか。
またその対応策をお聞かせください。

質　問

AIを検討、活用して
初めて分かった課題や対応策
があればお聞かせください。

質　問

AIを活用して改善できる
業務プロセスをお聞かせください。

質　問

Steward及びProPlus＋採用の理由をお聞かせください。

質　問

Steward及びProPlus＋採用の理由をお聞かせください。

Stewardと影響額試算ソリューションとの連携

